

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第176号	
事故等種類	浸水	
発生日時	平成22年8月30日 21時10分ごろ	
発生場所	岡山県玉野市宇野港南方 ^{いぬもどりほな} 犬戻鼻灯標から真方位064° 870m付近 (概位 北緯34° 27.5′ 東経133° 57.1′)	
事故等調査の経過	平成22年10月14日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 引船 ^{てんじょう} 天常丸、79トン 船舶番号、船舶所有者等 127359、ツネイシホールディングス株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船尾船底外板に破孔	
事故等の経過	<p>本船は、船長ほか3人が乗り組み、台船を引き、宇野港南方を北進中、平成22年8月30日21時10分ごろ、機関長が機関室後部の倉庫区画に浸水しているのを発見し、排水を始め、最寄りの宇野港に入港して台船を錨泊させたのち、着岸した。</p> <p>本船は、潜水士により水中ボンドで塞がれ、臨時航行許可を受け、9月1日朝、引船に引かれて係船場所に向かった。</p>	
気象・海象	天気 曇り、南西の風、風力1、視界 良好 海上 静穏	
その他の事項	<p>船尾船底部の破孔は、外板に生じており、船尾付近のキールから左舷方に約30～40cm離れた個所で、他物と接触した形跡はなかった。</p> <p>本船の機関に濡れ損はなかったが、廃船処分とされた。</p> <p>本船の竣工は、昭和60年6月で、最新の入渠日は、平成21年7月末であった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>なし</p> <p>あり</p> <p>なし</p> <p>本船は、宇野港南方沖を北進中、船尾部船底外板に破孔が生じたことから浸水したものと考えられる。</p>
原因	本事故は、本船が、宇野港南方沖を北進中、船尾部船底外板に破孔が生じたため、浸水したことにより発生したものと考えられる。	